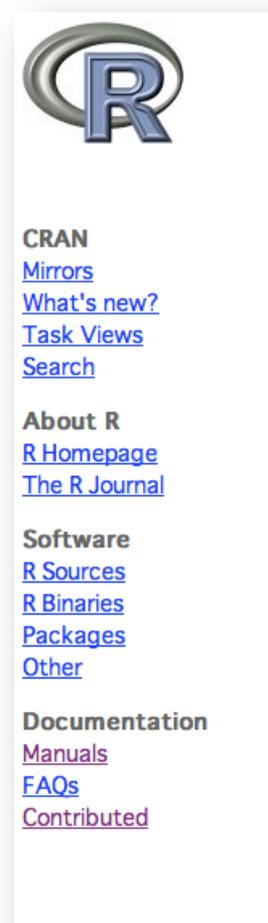


1日目：Rのインストールと起動・終了

まずはRをインストールします。インストールの仕方は、GoogleやYahoo!などの検索サイトで、「R インストール mac」として検索すれば、かなりの数が出てきます。手抜きで申し訳ないですが、それらを参考にダウンロードとインストールをやりましょう。

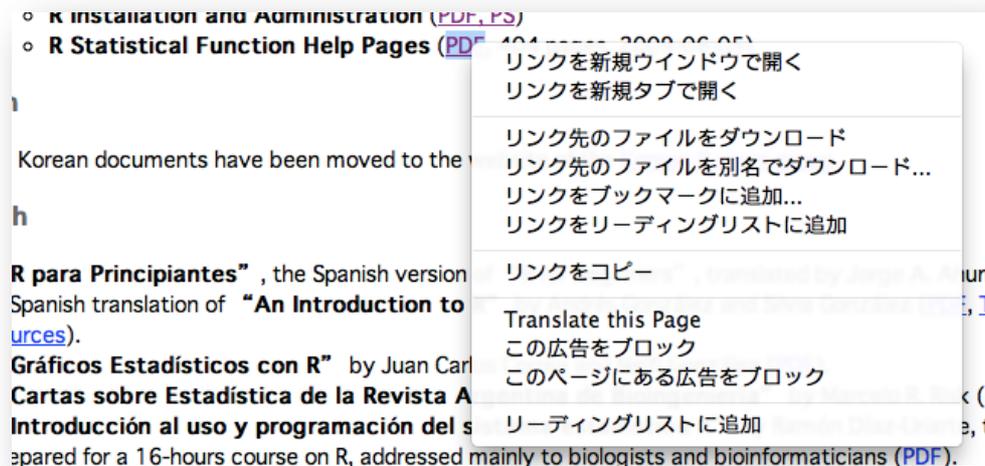
なお、いずれのサイトを見ても、Rの総本山(?)であるCRANのページ(<http://cran.r-project.org/>)からダウンロードを始めるように書いてあると思います。このCRANのページを訪れたなら、同時にマニュアルもダウンロードしておきましょう。ほとんどのマニュアルは英語なのですが、日本語に訳されたものもあります。

CRANのページ左側に、右図のようなDocumentationへのリンクがあります。日本語のものは、Contributesをクリックして、「Contributed Documentation」へ進み、かなり下の方にあるJapaneseを探します。いくつかファイルへのリンクがありますが、「R Statistical Function Help Pages」からリンクされているファイルを手元に置いておくと便利だと思います。2009年と少し古いのですが、十二分に参考になります。



Mac ビギナーさんへ

リンク先のファイルをダウンロードするのは、そのリンクされている部分にカーソルを合わせ(「矢印」が「指」に変わりますよね)、を2本指でタップ。図のようなサブメニューが出てくるので、「リンク先のファイルをダウンロード」を選ぶ、というのが簡単です(というか、私はそのように設定しています)。



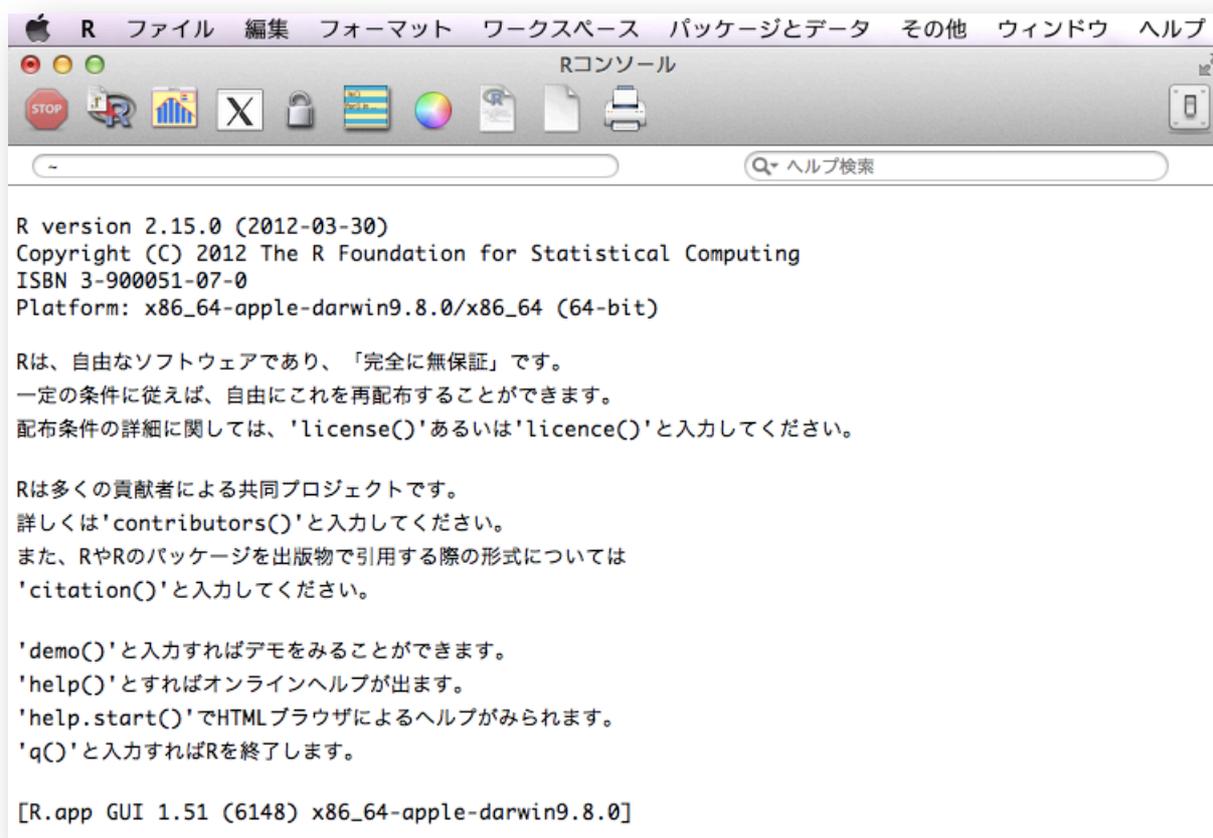
ビギナーの人が自分のMacに、どこまで自分なりの設定をしているのかわかりませんが、買った時の設定のまま使っている人も多いかもかもしれません。自分のMacなら、自分なりのカスタマイズをしておくことで、かなり使いやすくなると思います。

先のようなダウンロードをするためには、「システム環境設定」から「トラックパッド」をえらび、トラックパッドの設定をしておく必要があります。「ポイントとクリック」の、「タップでクリック」と「副ボタンのクリック」にチェックを入れ、「副ボタンのクリック」は「2本指でクリックまたはタップ」を選んでおきます。



ちなみに、「調べる」にもチェックを入れておくと、Rを使う時(HELPを探したり読んだりする時)に便利だと思います。このあたりは、お好みで。

さて、Rをインストールできたら、起動してみましょう。



```
R version 2.15.0 (2012-03-30)
Copyright (C) 2012 The R Foundation for Statistical Computing
ISBN 3-900051-07-0
Platform: x86_64-apple-darwin9.8.0/x86_64 (64-bit)

Rは、自由なソフトウェアであり、「完全に無保証」です。
一定の条件に従えば、自由にこれを再配布することができます。
配布条件の詳細に関しては、'license()'あるいは'licence()'と入力してください。

Rは多くの貢献者による共同プロジェクトです。
詳しくは'contributors()'と入力してください。
また、RやRのパッケージを出版物で引用する際の形式については
'citation()'と入力してください。

'demo()'と入力すればデモをみることができます。
'help()'とすればオンラインヘルプが出ます。
'help.start()'でHTMLブラウザによるヘルプがみられます。
'q()'と入力すればRを終了します。

[R.app GUI 1.51 (6148) x86_64-apple-darwin9.8.0]
```

こんな画面が出てきたらOKです。これでRが起動しました。ちなみに、このウィンドウを「R コンソール」とよびます(書いてありますけどね…)。

終了も、他のアプリケーションと同じ要領です。私はショートカットの「コマンド + Q」を使いますが、メニューバーの「R」から「Rを終了」を選ぶか、q()と「R コンソール」に打ち込むか、「R コンソール」の右上にあるスイッチの絵をクリックしても終了になります。



Rを終了しようとする時、「ワークスペースのイメージファイルを保存しますか?」と聞い

できますが、今回は「保存しない」を選んでおいてください。
さて、今日はここまでです。